

手話のまち 東京国際ろう芸術祭 2025 概要



手話のまち 東京国際ろう芸術祭



ろう者が主体となって企画・運営する芸術祭
前身:東京国際ろう映画祭(渋谷)

→ 高円寺へ拠点移行・表現領域の拡張
手話を基盤とした『手話のまち』空間を創出

開催期間

2025年11月6日(木)~11月9日(日)

別日コラボ企画

10月17日(金) 日本手話でおそうじ!
10月15日(水)~11月30日(日) 手話のカードラリー
11月22日(土) ホームビデオ鑑賞会

会場

座・高円寺、高円寺マシタ、IMAGINUS、高架下空き倉庫、
The Den、高円寺商店街

主催: 一般社団法人日本ろう芸術協会 / 文化庁(令和7年度障害者等による文化芸術活動推進事業)

提携: NPO法人劇場創造ネットワーク/座・高円寺

共催: 杉並区 / 杉並区聴覚障害者協会 / 社会福祉法人トット基金 / NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net) / 一般社団法人異言語Lab. / IMAGINUS(株式会社コングレ)

助成: 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京[芸術文化魅力創出助成/東京芸術文化鑑賞サポート助成]



主な成果

メディア掲載多数

掲載総数 **116件** ※転載を除く

大きめ掲載 **13件** (全体の約11%)

- ・「手話のまち」コンセプトが来場者に浸透
- ・多言語・多様な情報保障による鑑賞しやすい環境
- ・ろう者主導キュレーションによる先鋭的表現
- ・国内外ネットワークの拡大と海外展開の兆し



舞台芸術(演劇) **13**

映画 **21**

トーク・パネルディスカッション **6**

ワークショップ **7**

ギャラリー **3**

コラボ企画 **4**

来場者数(延べ)

15,000人

当芸術祭スタッフ **33名**

当日ボランティア **93名**

来場者データ



アジア **8**

オセアニア **1**

ヨーロッパ **10**

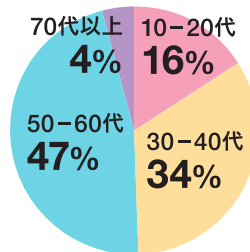
北米・中南米 **4**

来場者満足度 **86%**

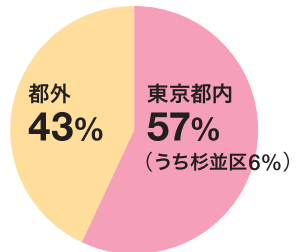
ろう者・聴者・外国人が
自然に共存していた

視覚言語が飛び交う場
そのものが新鮮だった

年齢 アンケート回答者



居住地



今後の展望

本芸術祭は、今後3年に一度の開催を予定しています。ろう者主導による創造と聴者との協働のモデルとして、今後の文化芸術のあり方を問い直す場となることを願っています。より多くの人々にとって価値ある場を届けるため、挑戦を続けていきます。

一般社団法人 日本ろう芸術協会

